

注目5項目!

I 子育て支援



- 「子育て世代包括支援センター」開設準備 299万円

妊娠してからの切れ目のない支援を目指すもので、新年度は、はびねすに助産師を配置し準備します。子育て支援センターとの関係も整理します。

- 産後ケア事業 13万円

産後4カ月未満の母子に対して心身のケアや育児のサポートを行います。日帰り型と宿泊型の2種類のケアを受けられます。

- 新生児聴覚検査助成 26万円

- インフルエンザ予防接種半額助成 126万円

- 小中学生にも「子ども医療費受給者証」を発行（8月から）

医療機関等に自己負担額を払ってから、役場で払戻の申請をする必要がなくなります。

さまざまな町制50周年記念事業

定例会のあらまし

第1回定例会は3月11日から15日まで（14日は鷹栖中学校卒業式のため休会）の会期をもって開催しました。平成31年度の町政と教育行政の執行方針について報告を受けました。（6～9ページ）

その後、5名の議員が一般質問を行いました。（16～21ページ）

議案審議では補正予算、条例改正を審議。（14～15ページ）

そして、平成31年度の予算について説明を受け、予算審査特別委員会を設置し、2日間にわたって審議を行いました。そのほか、議会からの発議案を2件提出しました。

定例会の議案一覧は速報版に掲載しています。



新年度事業

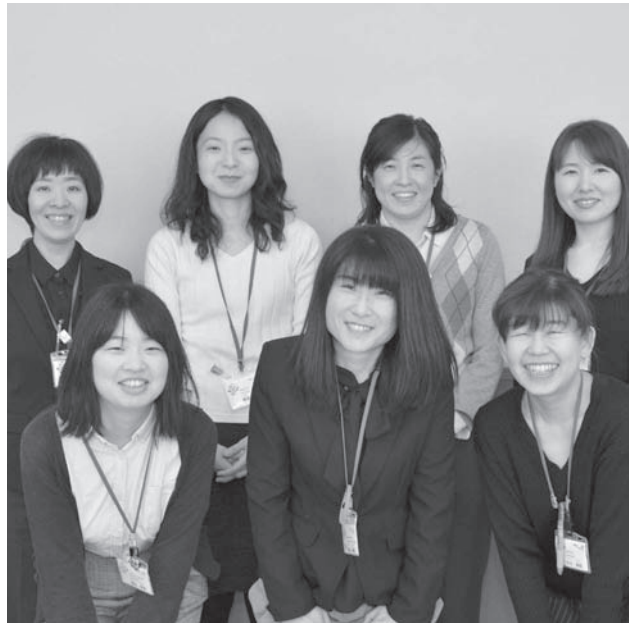
Ⅲ 町制 50 周年記念



開拓の碑

- 記念式典 120 万円
鷹栖地区住民センターのグランドオープン、開拓感謝の集いの要素を含めて、8月8日（木）に開催予定です。
- 記念事業 896 万円
 - ・ 町史編さん
 - ・ 町制 50 周年冠事業支援補助
 - ・ デジタルアーカイブ・成果品公開動画
- 北海道カレーサミット 2019 実施 80 万円
- 熱夏フェスタで有名演歌歌手のステージ 420 万円

Ⅱ 健康づくり



健康相談はこちらに！健康福祉課保健推進係のみなさん

- 胃がん検診での内視鏡検査の導入 26 万円
50歳以上の方が胃カメラでの検査も選択できるようになります。
- 眼底検査の全員実施 25 万円
脳の血管の状態を推測できるため生活習慣病の予防につながります。特定健診と同時に受診できるようになります。
- 特定健診と肺がん検診の初回受診時無料化 555 万円
- 認知症カフェの実施 15 万円

2020 年度中に 防災無線を整備

V 防災対策



防災訓練の様子

● 防災無線の整備（2019 年度は実施設計）
903 万円

災害時の情報伝達手段として全世帯および全事業所に防災無線を貸与するほか、移動系無線の更新や避難所などへの屋外スピーカーの整備を始めます。実際の整備は 2020 年度を予定しています。

● 防災セミナーの開催 30 万円

5 地区で 1 回ずつ自主防災組織づくりに向けたセミナーを開催します。また親子防災イベントも予定されています。

IV 農業振興



養液栽培で使用する装置

● 農業交流センター運営管理事業 1249 万円

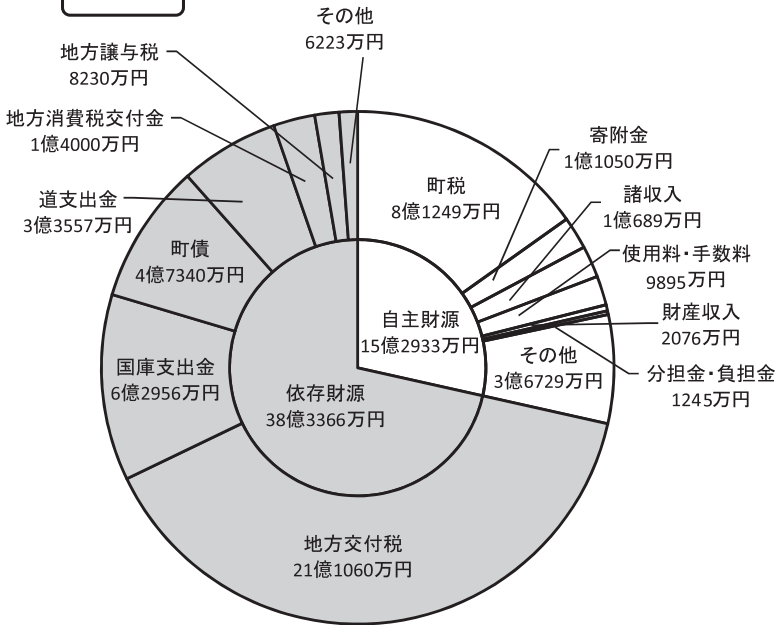
鷹栖町の基幹産業である農業の担い手育成のため、あったかファームで新規就農希望者への研修を進めていきます。新年度は新たにトマトの養液栽培を行います。

● 新規就農者確保対策事業補助金 1333 万円

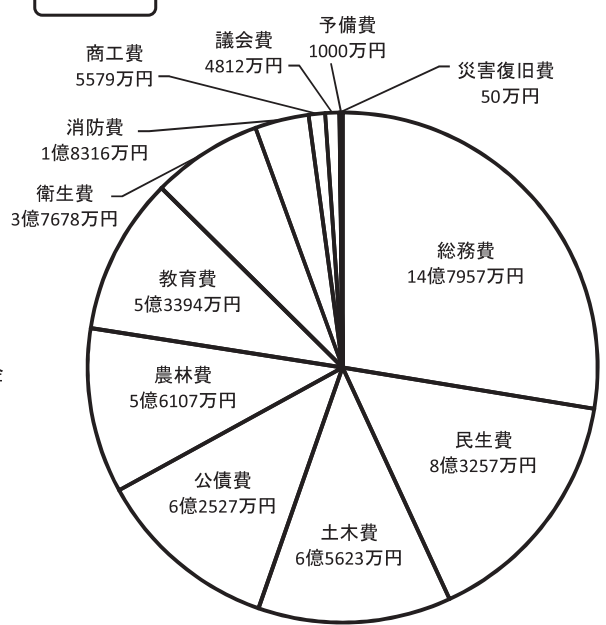
対象年齢が 45 歳未満から 50 歳未満に変更されるほか、後継者が経営基盤整備事業補助金を利用できるようになるなど、変更されます。

平成31年度一般会計予算

歳入



歳出



前年度比 **8.8%減**

新年度予算の概要

一般会計歳出 **53億6300万円**

次世代に財産を残す

堅実な予算編成

一般会計予算

総額53億6300万円です。前年度比5億1500万円の減額となりました。

減額の主な要因は鷹栖地区住民センター建物本体の改築工事の完了によるものです。

町政執行方針報告では、町長から、「人財を生かした協働のまちづくりを推進し、まちの将来像でもあるみんな笑顔であったかすの実現に向けた予算編成に努めた」と報告がありました。

まちづくりの5つの基本施策の実現に向けて、子育て環境や生涯学習の充実をはじめ、記念式典や町史発行に取り組む「町制50周年記念事業」や8月のグラウンドオープンに向けた鷹栖地区住民センター整備事業を進め、次世代への確実な財産を残し、堅実な予算編成に努めています。

特別会計予算

総額は19億4715万円で、前年度に比べ49万円の増額となりました。

国民健康保険特別会計では、31年度も特定健診のワコンイン化を引き続き実施し、胃がん検診における内視鏡検査の導入や眼底検査の全員実施を行い、健診内容の充実を図っています。

今回の予算は、平成30年12月定例会において日下議員が提言をした新生児聴覚検査の助成を新たに実施するなど、議会の提言も汲み入れた内容になっています。

議員全員で構成する予算審査特別委員会において慎重に審議し、一般会計など7会計の予算について原案の通り可決しました。